

吉林省檔案館
廣西師範大學出版社 編

日本關東憲兵隊報告集(第三輯)15

廣西師範大學出版社

· 桂林 ·

目 录

海拉尔地方检阅部通信检阅月报(昭和十八年四月六日)	〇〇一
海拉尔地方检阅部通信检阅月报(昭和十八年六月七日)	〇二〇
海拉尔地方检阅部通信检阅月报(无年代八月五日)	〇四〇
海拉尔地方邮政局郵便检阅实施成果表(无年月)	〇四六
东宁宪兵分队通信检阅月报(昭和十四年十一月一日)	〇四七
东宁宪兵分队军事机密公用封破损状况报告(昭和十四年十一月七日)	〇七七
*东宁宪兵分队军事郵便破损状况报告(昭和十四年十二月十三日)	〇八六
*东宁宪兵分队军事郵便破损状况报告(昭和十四年十二月)	〇九三
东宁宪兵分队通信检阅月报(昭和十五年四月一日)	〇九九
东宁宪兵分队通信检阅月报(昭和十五年十二月一日)	一一三
东宁宪兵分队通信检阅月报(昭和十六年一月二日)	一二三
东宁地方检阅部通信检阅月报(昭和十六年九月一日)	一三三

东宁地方检阅部通信检阅月报(昭和十六年十月一日)	一五二
东宁地方检阅部通信检阅月报(昭和十六年十一月一日)	一七一
东宁宪兵分队周报(昭和十七年六月二日)	一八九
东宁地方检阅部通信检阅月报(昭和十七年七月二日)	二〇五
东宁地方检阅部通信检阅月报(昭和十八年一月三十一日)	二二九
东宁地方检阅部通信检阅月报(昭和十八年三月三日)	二五六
东宁地方检阅部通信检阅月报(昭和十八年四月二日)	二八一
东宁地方检阅部通信检阅月报(昭和十八年四月)	三一二
东宁地方检阅部通信检阅月报(昭和十八年七月三日)	三三九
东宁地方检阅部通信检阅月报(昭和十八年九月一日)	三七六
东宁地方检阅部通信检阅成果表(昭和十八年九月)	四〇九
东宁地方检阅部通信检阅月报(无年代四月)	四一〇
东宁地方检阅部通信检阅月报(无年代七月)	四二二
东宁地方检阅部通信检阅实施状况报告(无年代十月十三日)	四四一

檢閱第四號

通信檢閱月報提出關スル件

昭和十八年四月六日

海拉爾地方檢閱部長

中部檢閱部長殿

昭和十二年八月七日中檢第四五號ニ基ク

首題ノ件三月中ニ於テル狀況別冊ノ通り

報告ス

發送先

中檢部長隊長

通信檢閱月報（三月分）

海拉爾地方檢閱部

一般狀況

前期ニ引續キ時局ノ推移ニ伴フ民心ノ動向反
軍注意人物ニ對スル不穩策動ノ内查竝ニ軍事
防諜ニ重點ヲ指向シ其ノ他各種有害通敵ノ索
出發見ニ努メタル處本期間中特ニ入營除隊軍
需工場關係其ノ他軍ノ行動ヲ報スル等ノ防諜
上有害ナルモノ其ノ數増加ノ傾向アリ又日人
中ニハ日ソ戰ヲ解永期ニ危險視シテ報シ流言
ノ原由トナルモノ二三見受ケラレタルモ其ノ
他特殊事象ヲ認メス

人民心ノ動向

各民族共ニ重大時局ヲ辨ヘ當局施策ニ協力
的ニシテ特異事象ナク物資不足ニ對スル言
動等アルモノ不平和不滿的ノモノ認メラレス

2

防諜事有通信

本期間中此種有害通信八十件ニシテ七件

ノ増加トナリ軍ノ異動入除隊ヲ報スルモノ

依然其ノ後ヲ断ル又特ニ軍需工場関係ノ

有害ナルモノニ件ヲ見タリ

3

統制經濟ニ對スル

白露人間ニハ依然物資不足ヲ報スルモノ散

見セラルモノ不平不滿的言詞十ク特ニ日人

中ニハ物資不足ハ戰時下國民必軍物資

トシ事難缺乏ニ堪ヘルトノ意ヲ示スルモノ

見受ケラル

4

其ノ他

軍紀上要注意通信七件

口流言語ノ素因トナル虞アル通信四件

經濟反響
其他通信

郵便檢閲
郵便檢閲實施成果表
郵便檢閲成果概況

別紙第一
左表

二件

區

分

防諜上
要注意

軍ノ異動及入除隊ヲ報スルモノ
軍需工場ニ関スル事項ヲ報スルモノ

計

官舎當番兵ニ對スル風評ヲ報スルモノ

憲兵ノ換唄ヲ地方ニ報セントスルモノ

軍紀上
要注意

前記各事ノ原因トナシテ起ルモノ

件数	計	防諜上	軍紀上
計	一	一	一
前明本期	八	二	二
三	一	一	一
四	二	一	一

經濟ニ対スル反響

其 他 通 信	通 信	合 計	軍 人 軍 属 ノ 私 信
計	計	計	計
一 〇	四 八	五 〇	二 〇
二	二		

防
謀
上
有
害
通
信

區 分	發 信 者	受 信 者	通 信 概 要	處 分
防 謀 上	兵庫縣加古 郡高砂町 鐘防社宅	海拉爾 新市街 滿洲國通信 社宅	次ニ私ノ會社ヲハ防績ト鐘防 實業ト二種アルカ内地ノ防 績ハ百三十万鐘程アリマシ ムハ海外輸出残り三分ノ一シテ運 轉シマセンノテ私ノ高砂防績 ハ今度海軍ノ飛行機ノ發動 機(ジゼル工場)ヲ作ル事二十	三六 突戸五郎 突戸三男
要 注 意				

海拉爾交通	部末工組 處内	海拉爾市司令 街三〇ノ二	興安北省海 拉爾滿洲 部隊
東京市板橋 区志村前野	町 吉田伊三郎	熊本縣岸土 郡三角町渡 岩崎玉子	島根縣鮎 川郡東村小 堤谷喜次郎
リマシタカ此処年位テハ完成 マスマイ完成ノ上ハ聯工三ノ三 人事務員百五十人位使ニ テヤウ下	私在隊中ハ權々御相違下サレ 誠ニ有難ク御座居マシタカ 様ニ三月二十六日無事テ除隊 マシタカラ御安心下サイ	守サンモ三月一日ヨリ元氣テ閣 下ノオ伴テ東京ニ東京方面へ 出張中ナス	其後隊モ貴殿ノ交代ニ 参リ隊長以下相変ス元氣 盛御奉公申上ケテナル次第
	削除	棒録 部分 削除	發送

御承知ノ如ク至野少尉軫屬ニナリ
其後ニ少尉一見習士官ニト三名
參將校室現在ノ處隊長以
下九名他ニ高垣准尉ト十名
ノ賑カサテス

海拉爾市 愛知縣碧 稅損局内 海郡安城 稻垣光義 町今村 三六	本月二十日ニ滿期スル相テス 時テシタ 話ニ依ルト除隊 ニ関東軍ノ軍屬トシテ テ働ク相テス 同シ中隊 在滿シラアトハ比留懷シ 歸ルラシイ	海拉爾 愛知縣額 稻垣光義 町今村 一部隊 外山 三一九 年林隊 青井大郎 中根重世	此ノ度青井君ニハ命ニ依リ今日 發ナマシタ 只今送ツタバカリテス 青井君ハ全ク羨シイ所 思ヘト戰友トモテ言カレ 書イテミマス 決定シテルトハ申 上テラレマセンカ行キ先ハ昭南島 分隊長トシテ金山田島中
---	---	---	---

ノトナル事ニセウ

海拉爾大連

テ今回公愚息入營ニ際シ多分

衛安部

御祝預ル御厚志ノ程深

官舎

御礼申上マス

オニ五號

四月十日高田六七部隊ニ入營

小岩井榮雄

朝八時出発ノ豫定兵種ハ迫
削除

撃砲兵一月入營者八月ノ末ニ

何レカハ出勤シタ相テハカニ

内地在留ハ一月位ヲモ 勿論

幹候ヲオ願ヒ致シテアッタ

今自分ハ當会社ニ在リ至ニ

閉ジコモツテ研究試作ニ餘念

カイノダヨ 暴研究試作ト

云フモノニハ電子通信管ト

東京市芝区

海拉爾市

西芝浦三丁目

海拉爾無線

高池

通信監視局

昭和電子工

晝田時男

業株式会社

三二

高橋陽造

漢口特三反海拉爾東二

西儀街驛道街

三三二朝日新聞朝日新聞社

漢口支局海拉爾通信

中上秀一堀部清

軍紀上要注意通信

新京長春海拉爾

盛京道街東山陸軍

誠聚官舎三九〇

大正九年四月

云フモヲ研究シテモシメヨ

此レヲ一日モ早ク完成シテ軍

ノ役目ニ立ツル一生懸命ノ

今度二月八日行動開始

長江上流作戦ヲ行フ

三付カレ湖北前線

城ニテ一月振リ今

城ニテ一月振リ今

城ニテ一月振リ今

城ニテ一月振リ今

城ニテ一月振リ今

城ニテ一月振リ今

城ニテ一月振リ今

城ニテ一月振リ今

城ニテ一月振リ今

宮崎縣

星夕日悲シサニ酒保女

大庭東町手

上官ト

三三三隊

目

シヤレル女ニ敬禮ス

指ヲ喰ヘテ泣目ヨ

森笑

本當ニ

三行苦勞ネ

(外數詞)

統制經濟反響

海陸海陸局

大阪市天王

サテ新達モ今テハ何ノ事ニ

寺尾

寺尾南日本

マセンカ只ニ食料ノ

三入

町ニ五

タメハレノミ困ウテ

寺尾

丸山末吉

米ハ一人宛ハキロ子供ハ四

大豆四キロメリカ粉三キロ

ノ愛給テス

送

日常勞務者私達テハトラニ不
足テス

軍隊生活ヨリ社会人トシテ第一
ヲ踏ミシメ此レ程迄ニ物
足ヲ感シルヲ今更々ラ想
シテカワタ程テス

索倫旗

公署

三九

古木キシエ

大分縣北海

部郡日代

村字代

宮本勇太郎

此ノ漢ハ野菜モナク...

リテ色々滋養食合カ足リ...

ルシチムヤビタミシ等ハ野...

ナイト取レナイハテ...

テ補ツテ居リマス

其他通信

モシヤ今年ハ...